



2026年6月1日 (No.2)

# あるく

発行：あいち平和行進共同連絡会  
連絡先：愛知県原水協 TEL:052-932-3219 FAX:052-931-2651  
mail: gensuikyo@lime.ocn.ne.jp

最新情報はWebで

あいち平和行進 検索 [peacemarch.peace-aichi.net](http://peacemarch.peace-aichi.net)

X エックス  
@aichi\_p\_march

5月31日  
まとめ

- ①新城市役所→設楽町役場  
→豊根村→東栄町
- ②碧南市役所→碧南市図書館  
→高浜市いきいき広場
- ③西尾駅東口

- ◆参加者 のべ 349 人
- ◆募金 1万 5610 円
- ◆ペナント 7本 (30、31日)

## 碧南・高浜→西尾、西三河に平和行進広がる 奥三河で薫風と平和の聲が山間で流れた



### 新城市役所

司会の八木さんから「昨年被爆 80 年ノーベル平和賞の受賞もあり、奥三河も今回 2 回目の平和行進。今日一日よろしくお願ひします」とあいさつ。共同連絡会の大村義則さんからは、被爆 2 世としてノーベル平和賞の授賞式にも行ってきた。「被爆者の証言が核のタブーとなった。これからは核のタブーを維持してほしい」とノーベル委員長の言葉を紹介、奥三河のコースが続いていくことを願っている、と挨拶がありました。

奥三河九条の会の事務局前澤さん「しわあせな毎日がずっと続くように願って今日の行進をしていきたい」とあいさつ。県内通し行進団長の奥田さんから通し行進者が元気よく紹介されました。

集会には被爆者の黒田さんが参加。「当時、爆心地から 2 キロにいた。熱線と猛烈なガラスの破片を浴びた。偶然畳が覆いかぶさっていなければこの世にいなかったかもしれない」と当時の状況を振り返り話されました。集会の後、市役所の周りを 55 人の参加で平和行進。街ゆく方にピースコールで核兵器廃絶のアピールをしました。

### 設楽町役場

設楽町役場で行われた集会では、町会議員田中さんが「国際的に大変な状況。国内では戦争をできる国づくりのための軍拡がすすんでいる。このような情勢のだからこそ声をあげていかなければならない。」とあいさつ。黒岩さんからは「奥三河からも平和への声をあげていきたい」など、想いが参加者から語られました。





## 豊根村

東三河労連青木事務局長は「教師退職前に、8月6日に平和記念式典で折り鶴を追ってほしいと生徒に頼んだら、たくさんの鶴を折ってくれた思い出がある」とエピソードを紹介。国土交通労組（設楽ダム事務所）の炭竈さんは「平和が大事と職場の中でも呼びかけている」。全国通し行進者三浦コト子さんからは「平和への思いを持って頑張るって歩きます」と挨拶がありました。

革新あいちの会田辺さんは「新所原からこの間ずっと歩いている。今年は奥三河の行進に参加できて嬉しい。こうした力が今後必要になると思う。歩ける限り頑張るって歩きたい」。東三河9条の会八木さんは「安全な商品を届けるのが生協の役割だが、その底辺には平和とよりよい生活がなければならないと教えられた。それをもちかえって活動をしている」と挨拶されました。集会後、山間部ののどかな街に平和の願いを込めた歌声を響かせてアピールしました。

## 東栄町

東栄町役場で行われた集会では、町議会議員浅尾さんから「今年も平和行進ができて嬉しい。東栄町では昨年平和宣言を行なった。“非核”は付かなかったが皆さんの力が町政を変えた。一人ひとり声をあげて行動していきたい」と挨拶がありました。奥田団長が通し行進者を紹介、「みんなで頑張るって歩いていこう」と挨拶がありました。



## 碧南市・高浜市

碧南市役所で開かれた出発集会には、小中高生や飛び入り参加も含めて65人が参加。県実行委員会を代表して大村美恵さん「NPT再検討会議では最終文書がまとまらなかったが、小さな国々が一步も引かない姿勢で主張した。国際政治が動かないとき市民の行動が世論を動かす」とあいさつ。若者から折り鶴660羽が寄せられたことが紹介されました。『青い空を』の伴奏で行進が出発♪

集結集会では、高浜市長の挨拶が代読されました。「戦争のない世界の実現は大切。被爆者の『こんな思いを他の誰にもさせてはならない』という切なる思いを次の世代に受け継ぐことが重要だ」。昨年8月の高浜市平和都市宣言や市の取り組みが紹介されました。参加者全員が今日の感想を述べ、美味しいスイカの差し入れを食べながら和やかな集会となりました♪



碧南の高校生による折り鶴



## 西尾市

西尾駅には41人が参加。参加者が平和への思いを口々に語り思いを共有しました。大村美恵さんは自身の体験を語り、国公の青山さんは、予備自衛官兼業特例法案の



危険性を訴え、国土交通省の職員が自衛官のお孫さんの会話として「こんなご時世だから、子どもを作らない」ことを決めた。と紹介して参加者の驚きをかいました。

### 本日6/1のコース

- 8:15(集会) 9:40 10:45  
 ① 豊橋市役所 → 豊橋駅東口  → JR 豊川駅・緑町公園  
 12:00(集会) 14:45 17:00(集会)  
 → コープ諏訪 → 蒲郡三谷若宮公園 → 蒲郡市役所  
 17:40   
 ② 幸田町